

# 清明学院高等学校サッカー部

SEIMEI 新聞 令和2年6月26日



コロナウイルスによって3か月近く練習が出来なくなったことは、誰も悪くないし、どうしようもないことです。今やれることを、明確に学校生活を取り組もう

## 連絡

練習時間が、とにかくほしいと先生たちのミーティングでも出ました。でも24時間は変えることは絶対にできない！！

- ① 課題克服できる時間は限られてくるので、今日練習でできなかったこと、不足していることは、自主練で解決する。
- ② 練習時間を確保するために、移動、練習の切り替えを速くする。練習時間がいきなりトップギアになるために、自分自身の体のアップ、心のアップを早く準備する。
- ③ 怪我、病気は練習から遅れる。体調管理をしっかりする。
- ④ 学校での問題行動、並びに課題提出により練習が遅れないこと

プリント提出期限を守れないものがあります。

これはチームにとってマイナスなことです。

早くできることは、1日でも早く解決する。『明日でいいわ』精神は、人間をダメにする。

清明学院高等学校サッカー部

監督 片山 万

## チームの成果とこれからの課題

### 1年生

成果：個人の個人能力、サッカー理解の把握が出来てきた

個人が元気よく、声を出し、自分を出すものが出来てきた。

問題点：予想以上にサッカー理解力が低く、サッカーの守備、攻撃の原理原則のわからないものが多い。

→ スタートポジションにたてない→ファーストアプローチに行けない→次の第2ディフェンダーが決定しない。

ボードなどで何回も説明し、サッカー知識を上げさせる。

### 7月からの課題

守備 攻撃で色々な面から、サッカーに対してのアプローチをし、レベルアップ  
サッカーの原理原則を学ぶ

### 2年生

成果：2年生の課題の1つの取り組みに対して、少しは雰囲気をもって、トレーニングが出来てきた。

ファーストディフェンスが決まらなく、緩いゲームが多かったので、3対3対3のトレーニングで攻守の入れ替わる練習を多く入れ、攻守の切り替えを早くできるように心がけた

### 7月からの課題

ボールをグループで奪う  
ポゼッション率をあげ、ゴールに向かうトレーニングをいれ、レベルアップを図る

### 3年生（トップチーム）

成果：あまり成果のない半月であった、体力的な面、守備に関するレベルを上げなくてはいけない感じはした。

### 7月からの課題

守備の整理 特にフラットな中盤から攻撃的なダイヤモンドへの変更からどこをどうスライドしたらゴールを守れるか。グループ制を持った、守備の確立→勝手に個人で守っていることが多い。この部分をゲーム形式のトレーニングを多くとり、解決する。